

### 3、各画面の紹介と各部の名称

御書システムには、いろいろな画面がありますが、ここでは御書システムを構成する各画面の紹介と、各部の名称と機能を、簡略に説明します。

#### ◆各画面共通のボタンと表示項目

|      |      |       |
|------|------|-------|
| 共通番号 | 共通項目 | 共通ボタン |
|------|------|-------|

#### ◆各画面の紹介

|      |      |        |        |      |
|------|------|--------|--------|------|
| 初期画面 | 遺文対照 | 御書目次   | 御書本文   | 現代語訳 |
| 御書資料 | 御書通読 | 法華経    | 法華経通読  | 年表   |
| 西暦換算 | 辞書   | 本尊資料   | 位置検索   | 書出書式 |
| 書出実行 | 用語調査 | システム説明 | メンテナンス |      |

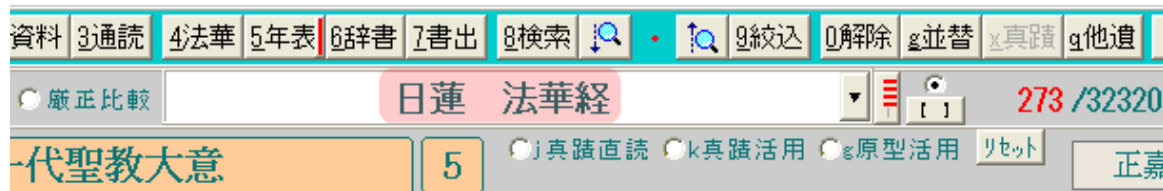
#### ◆各画面共通のボタンと表示項目

[▲このページの先頭に戻る](#)

御書システムでは、各画面で機能を実行するためのツールアイコン(ボタン)や表示項目を、共通化しています。これらをおぼえると大変便利です。ここでは「御書本文」フォーム画面で、それらの名称と機能を説明します。各機能の中には、桐と共通のもの(桐としての操作が可能なもの)もありますが、ここでは御書システム上での操作について説明しています。

(I) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖 㿗 㿘 㿙 㿚 㿛 㿜 㿝 㿞 㿟 㿠 㿡 㿢 㿣 㿤 㿥 㿦 㿧 㿨 㿩 㿪 㿫 㿬 㿭 㿮 㿯 㿰 㿱 㿲 㿳 㿴 㿵 㿶 㿷 㿸 㿹 㿺 㿻 㿼 㿽 㿾 㿿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣

(B)テキスト入力枠および関連ボタン……検索や絞り込みをするときに文字列(語句や数字)を入力する枠。複数の語句の入力ができます。



- (入力語履歴)ボタン …… クリックすると、入力語の履歴を9つまで表示します。
- (入力枠拡張)ボタン …… クリックすると、入力枠を広げることができます。
- (トグル)ボタン …… 検索・絞り込み結果のキーワードに、最初から【】や★印を付けておくときは、ここにチェックを入れておきます。このチェックはシステムを終了しても保持されます。
- (括弧)ボタン …… 検索・絞り込み結果のキーワードに、【】を付けたり、それを削除したりします。

☐ 真蹟直読 ☒ 真蹟活用 ☐ 原型活用 システム版御書以外で、検索・絞り込みを行いたい場合、いずれかに(御書選択トグル)ボタン……… チェックを入れます。

- リセット(リセット)ボタン …… 入力文字列と、トグルボタンのチェックをすべて解放します。

御書本文関係・法華経関係・年表は【】印、御書資料と辞書は★印です。(表示のフォントが小さく【】印では目立たないので。)

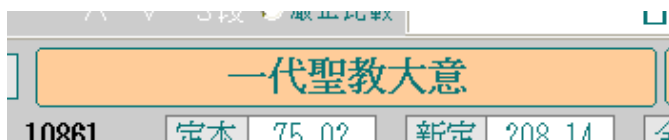
(C)絞り込数表示……御書システムの全データ(32320行)から、入力したキーワードが含まれるデータ数を表示します。(例:「日蓮」と「法華経」が同一データ内に含まれるデータ数は273ある)

273 / 32321

(D)並替状態表示……現在の並替え状態を表示。御書システムでは、系年順や各御書集順など13種の並替えができます。

並替:システムNo.順

(E)書名表示……現在表示されている御書名が表示されます



(F)C(class)表示……Cは部類＝classの略で、御書を真蹟・写本の存否、内容の種別、システムの必要性等の理由から10種類に分類したものです。御書単位に付してあります。



共通ボタン

▲[このページの先頭に戻る](#)

## (I)左コマンドボタン



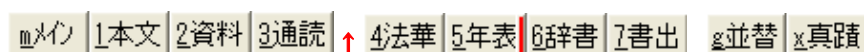
↑ ↑ ↑ ↑

A B C D

- A、閉帳ボタン……………現在開いているフォームを閉じる。
- B、表切替ボタン……………表編集形式の表画面に切り替えます。
- C、フォーム切替ボタン…別のフォーム画面に切り替えます。
- D、ヘルプボタン……………ヘルプ(システム説明)画面に切り替えます。

## (II)メニューボタン

1目次



↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

A B C D E F G H I J K L

- A、「mメイン」ボタン …… メインメニュー画面に切り替えます。
- B、「1本文」ボタン …… 御書本文画面に切り替えます。
- C、「2資料」ボタン …… 御書資料画面に切り替えます。
- D、「3通読」ボタン …… 御書通読画面に切り替えます。
- E、「1目次」ボタン …… 御書目次画面に切り替えます。(各フォームごとに表示位置が変わります)

F、「4法華」ボタン …… 法華経画面に切り替えます。

G、「5年表」ボタン …… 年表画面に切り替えます。

H、「西暦」ボタン …… 西暦換算画面に切り替えます。

I、「6辞書」ボタン …… 辞書画面に切り替えます。([用語調査][システム説明]画面では、**1事典**となります)

J、「7書出」ボタン …… 絞り込み状態の時、書き出し画面に切り替えます。([御書資料][御書通読]画面では、使い方が少し異なります)

※なお、書出ボタンは、使用状態により表示が、以下のようになります。

**7書出** …… 書き出しができない状態(何も絞り込んでいない状態)。

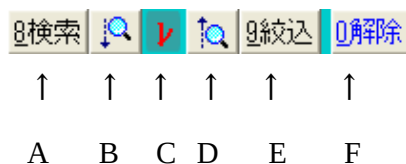
**7書出** …… 書き出しが可能な状態(全文、または御書本文の絞込状態)

**7確認** …… 書き出し内容が確認できる状態(書き出しが実行された後に表示される。御書本文のみ)。

K、「g並替」ボタン …… 御書システムのデータの並べ方を、系年順・定本順など13種に変更できます。(ボタンは、検索・絞り込みボタンの右側にあります)

L、「真蹟」ボタン …… 現在表示の御書の真蹟を表示。(真蹟の現存する御書の位置で黒字となるみ。ボタンは[御書本文][御書通読]画面にのみあります)

### (Ⅲ)検索・絞りボタン



A、「8検索」ボタン …… キーワードの検索を開始します。

B、「次検索」ボタン …… 同じキーワードの次の位置を検索します。

C、葉窓 …… 葉機能の状態を示します。

D、「前検索」ボタン …… 同じキーワードの前の位置を検索します。

E、「9絞り込」ボタン …… キーワードの絞り込みを開始します。

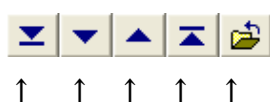
F、「0解除」ボタン …… 絞り込み状態を解除します。

**0解除** (黒字) …… 絞り込状態の時、絞り込を1段解除します。

**0解除** (青字) …… 葉機能を使用中、状態で、複数の(葉)を解除します。

**0解除** (伏字) …… 絞り込みも葉機能も働いていないとき。

### (Ⅳ)右ツールボタン



A B C D E

- A、最終行へ移動ボタン …… 御書システムの最終データ行へ移動します。
- B、次へ移動ボタン …… 次のデータへ移動します。
- C、前へ移動ボタン …… 前のデータへ移動します。
- D、先頭行へ移動ボタン …… 御書システムの最初データ行へ移動します。
- E、閉帳ボタン …… 現在のフォーム画面を閉じて、前の画面に戻ります。

## (V)ズームボタン



↑ ↑

A B

- A、ズームインボタン …… 画面を拡大します。
- B、ズームアウトボタン …… 画面を縮小します。

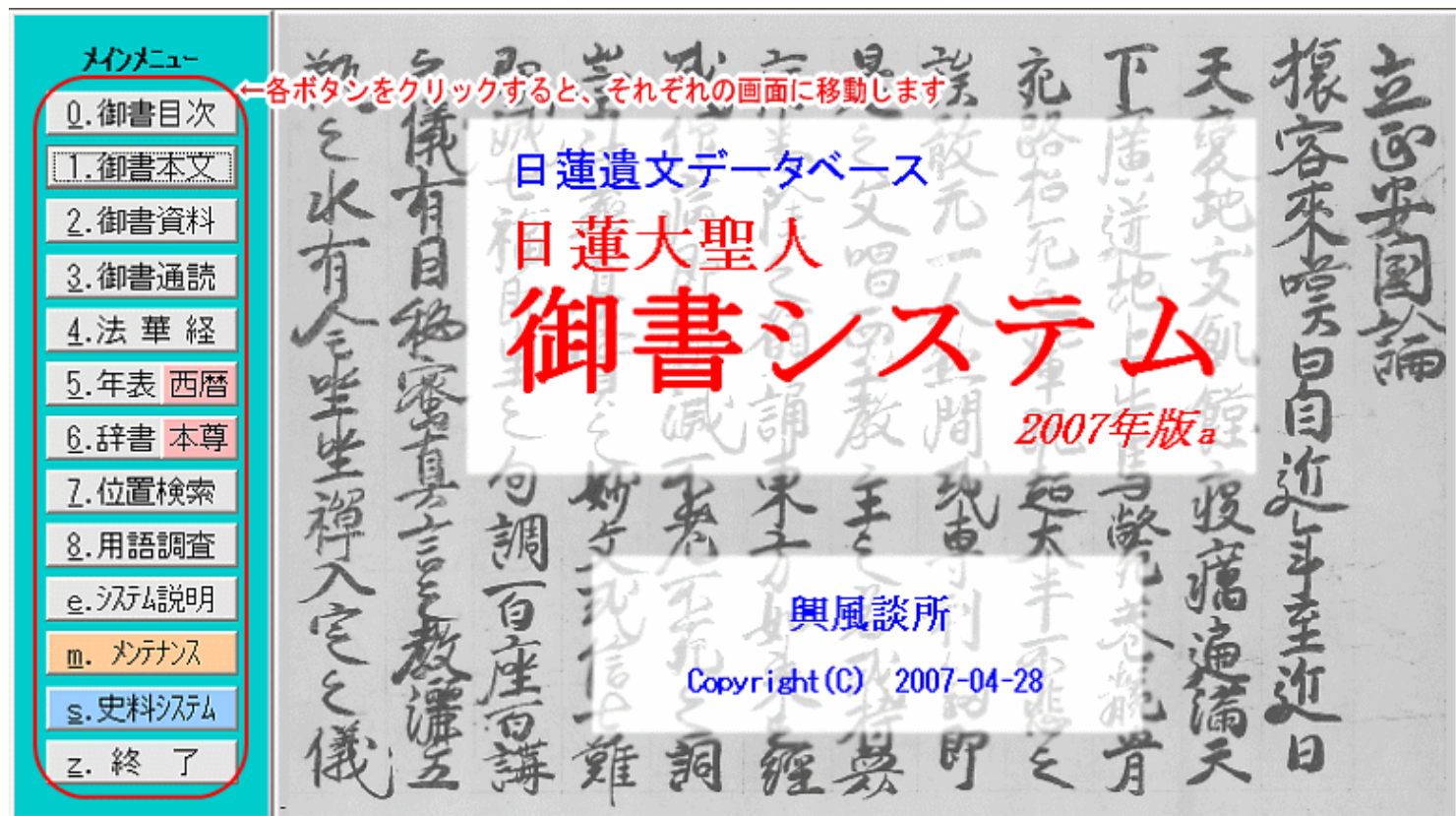
[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆各画面の紹介

### ◆初期画面フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)





## 各部の名称へ

御書システムを起動すると、表示される画面です。画面左側に「御書目次」から「終了」まで11個のコマンドボタンが並んでいます。これらはみなシステムの機能を示したもので、このメインメニューを選択してクリックすると、御書目次をはじめ、直接に御書本文や御書資料、年表西暦その他の機能に入ることができます。

これらメインメニューの機能は、ほぼ各フォーム画面(御書本文や御書通読などの画面。後に説明があります)上部のコマンドボタンに対応しており、それぞれの機能を行うとき、メインメニューにいちいちもどらなくても、各フォーム画面のコマンドボタンで操作が可能です。

▲[このページの先頭に戻る](#)

## ◆御書対照フォーム

▲[このページの先頭に戻る](#)

| メインメニュー   |                                                                                              |     |       | システムNo. 15960 |     |     |  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|---------------|-----|-----|--|
| 0. 御書目次   | 定本遺文                                                                                         | 1 巻 | 535 頁 | 2 行目          | 開目抄 | 開目抄 |  |
| 1. 御書本文   | 新定御書                                                                                         | 1 巻 | 756 頁 | 13 行目         |     |     |  |
| 2. 御書資料   | 縮刷遺文                                                                                         | 正編  | 747 頁 | 3 行目          |     |     |  |
| 3. 御書通読   | 御書全集                                                                                         |     | 186 頁 | 3 行目          |     |     |  |
| 4. 法華経    | 刊本録内                                                                                         | 2 巻 | 1 丁   | 2 行目          |     |     |  |
| 5. 年表 西暦  | 刊本録外                                                                                         |     |       |               |     |     |  |
| 6. 辞書 本尊  | 新編御書                                                                                         |     | 523 頁 | 14 行目         |     |     |  |
| 7. 位置検索   | 平成新修                                                                                         |     | 202 頁 | 2 行目          |     |     |  |
| 8. 用語調査   | 対 照 録                                                                                        |     |       |               |     |     |  |
| e. システム説明 | 真蹟集成                                                                                         |     |       |               |     |     |  |
| m. メンテナンス | (注) 新定御書・縮刷遺文・録内・録外・平成新修の5遺文集の位置(頁行)は近似値です。故にこれらの遺文集から位置(頁行)を入力した場合は、御書本文の表示位置が若干ずれることがあります。 |     |       |               | 3   |     |  |
| s. 史料システム |                                                                                              |     |       |               |     |     |  |
| z. 終了     |                                                                                              |     |       |               |     |     |  |

## 各部の名称へ

メインメニューから、一旦他フォーム画面へ移動後、再びメインメニューへ戻ると表示される画面。各遺文集の巻、頁、行数が、一目で対照できます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆御書目次フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)





メインメニュー
 
 32224 / 32224

1-024
 **立正安国論**
 0
 



 文応01年

システムNo. 12486

**システム版御書**
 旅客来たりて歎きて曰く、近年より近日に至るまで、天変・地天・飢饉・疫癘、遍く天下に満ち、広く地上に迸る。

**真蹟直読**
 旅客来嘆曰自近年至近日 / 天變地天飢饉疫癘遍満天 / 下廣迸地上

**門下写本**
 旅客来嘆曰自近年至近日天變地天飢 / 饉疫癘遍満天下廣迸地上

下の3段はその該当枠内をクリックすれば表示の内容を交互に替えられます
 **b直読備考**
 \*「旅」は異体字

5種類の御書本文を表示

## 各部の名称へ

最新の成果を取り入れて独自に作成した読み下しの御書[システム版御書]のほか、[真蹟直読][門下写本]など、5種類の御書本文を表示しています。

デジタル御書としての活用(検索・校り込み・並べ替えなど)を考慮して表記の統一を心掛けています。

[▲このページの先頭に戻る](#)

◆本文現代語訳フォーム(メモ帳フォーム)

[▲このページの先頭に戻る](#)

[メイン](#) [1目次](#) [2資料](#) [3通読](#) [4法華](#) [5年表](#) [6辞書](#) [7書出](#) [8検索](#) [9紋込](#) [0解除](#) [g並替](#) [g他適](#)

メインメニュー ↑ **フォーム切り替えボタンで、「御書本文」と切り替えて使う**
32320 / 32320 並替: システムNo. 期

1-098 開目抄 3 文永09年02月

システムNo. 15981 定本 535.03 新定 756.14 全集 186.04 新編 523.15 テキ 集成

夫れ一切衆生の尊敬すべき者三つあり。所謂 主・師・親これなり。又習学すべき物三あり。所謂 儒・外・内これなり。

第一章 儒教と外道と仏教

そもそも、生きとし生ける者がかならず尊重しなければならないものが三つある。それは主徳と師徳と親徳の三徳である。また、かならず学ばなければならない教えが三つある。それは儒教と外道と内道たる仏教である。

メモ帳3

引用索引

現代語訳

メモ帳2

## 各部の名称へ

従来のメモ帳フォームに、御書本文の現代語訳（現在は、一部の御書のみ）を表示できるようにした、今回のバージョンから新しく機能が追加されたフォームです。

御書本文の現代語訳の表示、ユーザーが自由に書き込めるメモ帳欄が2つ用意されています。左上の で、御書本文フォームと切り替えて使用します。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆御書資料フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <div> </div> <div> <a href="#">1本文</a> <a href="#">2目次</a> <a href="#">3通読</a> <a href="#">4法華</a> <a href="#">5年表</a> <a href="#">6辞書</a> <a href="#">7書出</a> <a href="#">8検索</a> <a href="#">9絞込</a> <a href="#">0解除</a> <a href="#">並替</a> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <div>御書本文 27406</div> <div>1113 / 1113</div> <div>並替:システムNo.順</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <div>1-343</div> <div>聖人御難事</div> <div>0</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <div> <div>弘安02年10月01日</div> <div> <div>1279年</div> <div>58歳</div> </div> <div> <div>定本追文</div> <div>弘安02年</div> </div> <div> <div>対照録</div> <div>弘安02年</div> </div> <div> <div>新編御書</div> <div>弘安02年</div> </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <div> <div>四條金吾他人々御中</div> <div> <div>システムNo.</div> <div>27406</div> </div> <div> <div>定本追文</div> <div>1672.03</div> </div> <div> <div>新定御書</div> <div>2015.12</div> </div> <div> <div>縮刷追文</div> <div>1875.04</div> </div> <div> <div>御書全集</div> <div>1189.04</div> </div> <div> <div>録内</div> <div>2230.02</div> </div> <div> <div>録外</div> <div></div> </div> <div> <div>新編御書</div> <div>1396.04</div> </div> <div> <div>テキスト</div> <div>144.02</div> </div> <div> <div>対照録</div> <div>1556.04</div> </div> <div> <div>真蹟集成</div> <div>3131.01</div> </div> <div> <div>平講</div> <div>23-87</div> </div> <div> <div>龍講</div> <div>11-39</div> </div> <div> <div>文段</div> <div></div> </div> </div> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <div>しょうにんごなんじ</div> <div>解題</div> <div> <p>真蹟十二紙完。千葉県中山法華経寺蔵。『日祐目録』、『日朝本目録』、『平賀本目録』等所収。</p> <p>本状は熱原法難の最中、鎌倉の弟子檀越達に対し、法難に対する心構え、熱原の人々への激励等を指示された書状である。冒頭、建長五年四月二十八日清澄寺諸仏房の持仏堂の南面での法門を申し始めて以来二十七年の今、仏が四十余年、天台大師が三十余年、伝教大師が二十余年にして出世の本懐を遂げた如く、自身の本懐が遂げられたことが宣言されている。またその間の法難は仏及び正像の諸師に勝るものであり、またその大難こそが『法華経』の預言を証明するものであると述べられる。そして法華経の行者を怨む者は必ず罰を蒙るのであり、飢饉疫癘や自然叛逆・他国侵逼は日本国一同に蒙る総罰、この度の熱原法難に際して大田親昌・大進房等の落馬は現罰であると断じている。そしてこの法難は日蓮が一門に与えられた試練であって、門下一丸となって師子王のごとき強き心をもって乗り越えるべきこと、具体的には鎌倉に連行されている熱原の人々を激励すべきことが指示されている。なお、ここに「本懐」いわれたのは、明らかに弘安二年の今を指されていることから、熱原の法難を指すものと思われる。すなわち熱原の農民達の自立的不屈の信仰に、末法濁悪の世に法華信仰がしっかりと根付いたことを確信されての言葉ではなかろうか。</p> </div>                                                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <div> <div>定本番号</div> <div>343</div> <div>新定番号</div> <div>406</div> </div> <div> <div>対照録番号</div> <div>33巻</div> <div>鎌倉追文</div> <div>18-13727</div> </div> <div> <div>書名備考</div> <div>『日祐目録』は「度度御難事」、『平賀本目録』は「御難御抄」、『日朝本目録』『定本』『新定』『対照録』『真蹟集成』は「聖人御難事」、『須妙庵目録』は「聖人御難抄」、『日誦目録』『日明目録』は「与門人書（聖人難事）」、『高徳追文録』は「与門人等」</div> <div> <div>系年備考</div> <div>文中「去建長五年……余は二十七年なり。」とあり、弘安二年であることが確定し、本状典に「十月一日」の自筆の日付がある。古来異説はない。</div> <div> <div>対告備考</div> <div>本状典に「人々御中 さぶろうさへもん照のもとにとどめらるべし」とあり、総じては鎌倉在住の弟子檀越達へ、別して四條金吾へ宛てられている。</div> <div> <div>真蹟備考</div> <div>真蹟十二紙完。千葉県中山法華経寺蔵</div> <div> <div>字本備考</div> <div></div> </div> <div> <div>其他備考</div> <div></div> </div> </div> </div></div></div>       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

解題のほかに書名や系年、対告、真蹟等の説明がある

## 各部の名称へ

御書資料ボタンをクリックして御書資料画面へ。当該御書の大体の説明と問題点を解説しています。書名や系年・対告・真蹟に関するさまざまなデータを直ちに閲覧できます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆御書通読フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

1-343

聖人御難事

0 切替 現在「システム更新中」

3949 / 3949 並替: リストNo.順

↑ クリックすれば各画面へ

◆ 聖人御難事 (〇・弘安二年一〇月一日・三)

金堂 建長五年(太歳癸丑) 四月二十八日に、安芸国尾道郡の内東条の郷、今は郡なり。天照太神の御子、や(一)、右大將家の立て始め給ひし日本第二のみくりや、会(二)日本第一なり。此の郡の内清澄寺と申す寺の時、坊の仏堂の南面にして、午の時に此の法門申しはて今二十二年、弘安二年(太歳己卯)なり。仏は、余(三)天台子(四)は三十余年、伝教大師は二十余年に、世(五)の懐を蒙給ふ。其の中の大難申す計りなし。サレに申しが(六)。余は二十七年なり。其の間の大難、々々かしう(七)せり。

注(一)経に云く、而も此の経は如来の現在すら猶怨し、や滅後(二)後をや」云云。釈迦如来の大難はかすし。其の(三)に馬の麦をもって九十日、小指の出(四)血、大石の頂(五)かかりし、善星比丘等の八人が身は(六)御弟子、心は法道にともないて、屋敷十二時に仏の(七)あやまちを(八)らうし、無量の釈子の波瑠璃王に殺さ(九)し、無量の等(一〇)等があい(酔)象にふまれし、阿闍世(一一)の大難をなせし、此等は如来現在の小難なり。況滅後の大難は常(一二)天親・天台・伝教いまだ値ひ給はず。法華の行者なら(一三)といわば、いかでか行者にてを(一四)せざるべき。

↑ 用語をドラッグした状態のまま「6. 辞書」をクリックして辞書画面へ

↑ 年月日をドラッグし「5. 年表」をクリックすれば年表画面へ

↑ 経文をドラッグし「4. 法華」をクリックすれば法華経画面へ

27406 昭和定本 1672.02 新定御書 2015.11 御書全集 1189.03 新編御書 1396.03 デキスト 144.02

聖人御難事の冒頭部分

## 各部の名称へ

御書システムは一般の書籍版の御書を読むのと同様に使用できます。

御書本文画面でも   ボタンをクリックしながら読み進めることができますが、通して読む際には御書通読画面の方が文章量も適当で、より読みやすい表示になっています。御書通読画面も縦書き・横書きの両表示が可能です。

また、この御書通読画面からは書き出し操作が簡単に行えます。書き出したいデータをドラッグしてコピーし、他のエディタやワープロを立ち上げて貼り付けるだけです。

また通読画面で御書を拝読しながら、ボタン一つで次のようなことができます。御書通読画面に表示された聖人御難事に関わる諸画面を参照しながら読んで下さい。

[▲このページの先頭に戻る](#)

◆ 法華経フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)



|                                                             |  |            |  |                                                                                                      |  |             |  |
|-------------------------------------------------------------|--|------------|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------|--|
| 御書資料 27406                                                  |  | 御書本文 27406 |  | 法華品第十                                                                                                |  | 2803 / 2803 |  |
| No. 1426                                                    |  | 蔵経 31b.14  |  | 開結 390.04                                                                                            |  |             |  |
| 真                                                           |  | 読          |  | 訓                                                                                                    |  | 読           |  |
| 藥王今告汝 我所説諸經 而於此經中 法華最第一                                     |  |            |  | 藥王今汝に告ぐ 我が所説の諸經 而も此の經の中に於て 法華最も 第一なり                                                                 |  |             |  |
| No. 1427                                                    |  | 蔵経 31b.16  |  | 開結 390.06                                                                                            |  |             |  |
| 爾時佛復告藥王菩薩摩訶薩 我所説經典無量 千萬億 已説今説當説 而於其中 此法華經最 爲難信難解            |  |            |  | 爾の時に仏、復藥王菩薩摩訶薩に告げたまわく、我が所説の經典、無量千萬億にして、已に説き、今説き、當に説かん。而も其の中に於て、此の法華經、最も爲れ難信難解なり。                     |  |             |  |
| No. 1428                                                    |  | 蔵経 31b.18  |  | 開結 390.09                                                                                            |  |             |  |
| 藥王 此經是諸佛祕要之藏 不可分布妄授與人 諸佛世尊之所守護 從昔已來未曾顯説 而此 經者 如來現在猶多怨嫉 況滅度後 |  |            |  | 藥王、此の經は是れ、諸仏の祕要の藏なり。分布して、妄りに人に授与すべからず。諸仏世尊の、守護したもう所なり。昔より已來、未だ曾て顯説せず。而も此の經は、如來の現在すら、猶怨嫉多し。況んや滅度の後をや。 |  |             |  |
| No. 1429                                                    |  | 蔵経 31b.21  |  | 開結 391.01                                                                                            |  |             |  |
| 藥王當知 如來滅後 其能書持讀誦供養爲他人 說者 如來則爲以衣覆之                           |  |            |  | 藥王、當に知るべし。如來の滅後に、其れ能く書持し、讀誦し、供養し、他人の爲に説かん者は、如來則ち、衣を以て之を覆いたもう爲し。                                      |  |             |  |
| No. 1430                                                    |  | 蔵経 31b.23  |  | 開結 391.03                                                                                            |  |             |  |
| 又爲他方現在諸佛之所護念 是人有大信力及 志願力諸善根力 當知是人與如來共宿 則爲如 來手摩其頭            |  |            |  | 又、他方の現在の諸仏に護念せらるることを爲ん。是の人は、大信力、及び志願力、諸善根力有らん。當に知るべし。是の人は、如來と共に宿するなり。則ち如來の手をもって、其の頭を摩でたもう爲ん。         |  |             |  |

## 各部の名称へ

御書通読画面中の法華經の一文をドラッグして、法華經ボタンをクリックすれば、このようにただちに法華經画面に移り、引用箇所を法華經を拝読することができます。逆に法華經画面の一文をドラッグして通読ボタンを押すと、その文を引用した御書が直ちに表示されます。さらに、この状態で  ボタンをクリックしていけば、この一文を引用した御書が順番に表示されていきます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆法華經通読フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

法華経 1882 御書通読 26896 463 / 463

1877 如来寿量品第十六

開結 495.01 蔵経 42a.28

妙法蓮華經如来寿量品第十六

爾の時に仏、諸の菩薩、及び一切の大衆に告げたまわく、諸の善男子、汝等当に如来の誠諦の語を信解すべし。復大衆につけたまわく、汝等当に、如来の誠諦の語を信解すべし。又復、諸の大衆に告げたまわく、汝等当に、如来の誠諦の語を信解すべし。是の時に菩薩大衆、弥勒を首と為して、合掌して仏に白して言さく、世尊、唯願わくは之を説きたまえ。我等当に、仏の語を信受したてまつるべし。是の如く三たび白し已って、復言さく、唯願わくは之を説きたまえ、我等当に、仏の語を信受したてまつるべしと。

【爾の時に世尊、諸の菩薩の、三たび請じて止まざることを知しめして、之に告げて言わく、汝等諦かに聴け、如来の秘密神通の力を。】一切世間の天、人、及び阿修羅は皆今の釈迦牟尼仏、釈氏の宮を出でて、伽耶城を去ること遠からず、道場に坐して、阿耨多羅三藐三菩提を得たまえりと謂えり。然るに善男子、我実に成仏してより已來、無量無邊百千萬億那由他劫なり。

妙法蓮華經如来寿量品第十六

爾時佛告諸菩薩及一切大衆諸善男子 汝等當信解如来誠諦之語 復告大衆 汝等當信解如来誠諦之語 又復告諸大衆 汝等當信解如来誠諦之語 是時菩薩大衆 彌勒爲首合掌白佛言 世尊 唯願說之 我等當信受佛語 如是三白已 復言唯願說之 我等當信受佛語

爾時世尊 知諸菩薩三請不止 而告之言 汝等諦聽 如来秘密神通之力 一切世間天人及阿修羅 皆謂今釋迦牟尼佛出釋氏宮 去伽耶城不遠坐於道場 得阿耨多羅三藐三菩提 然善男子 我實成佛已來 無量無邊百千萬億那由他劫

## 各部の名称へ

法華経を、一般の書籍版の法華経を読むのと同様に使用できます。

法華経を通して読む際に、読みやすい表示になっています。法華経通読画面も、縦書き・横書きの両表示が可能です。

[▲このページの先頭に戻る](#)

◆年表フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

## 各部の名称へ

[5年表](#)をクリックして、年表画面へ。当該御書の系年のところにカーソルが示され、それを中心にした年表の事項が直ちに见られます。また御書の文中にある年月日(例えば本画面でいえば「建長五年四月二十八日」)をドラッグして年表ボタンを押せば、当該の年表部分が表示されます。また年表画面に移ってから、その入力枠に「日興本尊 書写」と入力して[9絞込](#)を押せば、日興の本尊書写に関わる166件のデータが選択されます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆西暦換算フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

Q事典4年表

1260

2換算

## 西 曆 換 算

旧暦年月日の入力

文応1年7月16日

庚申

4月13日に正元2年から改元

グレゴリオ暦 1260年8月31日

ユリウス暦 1260年8月24日

各部の名称へ

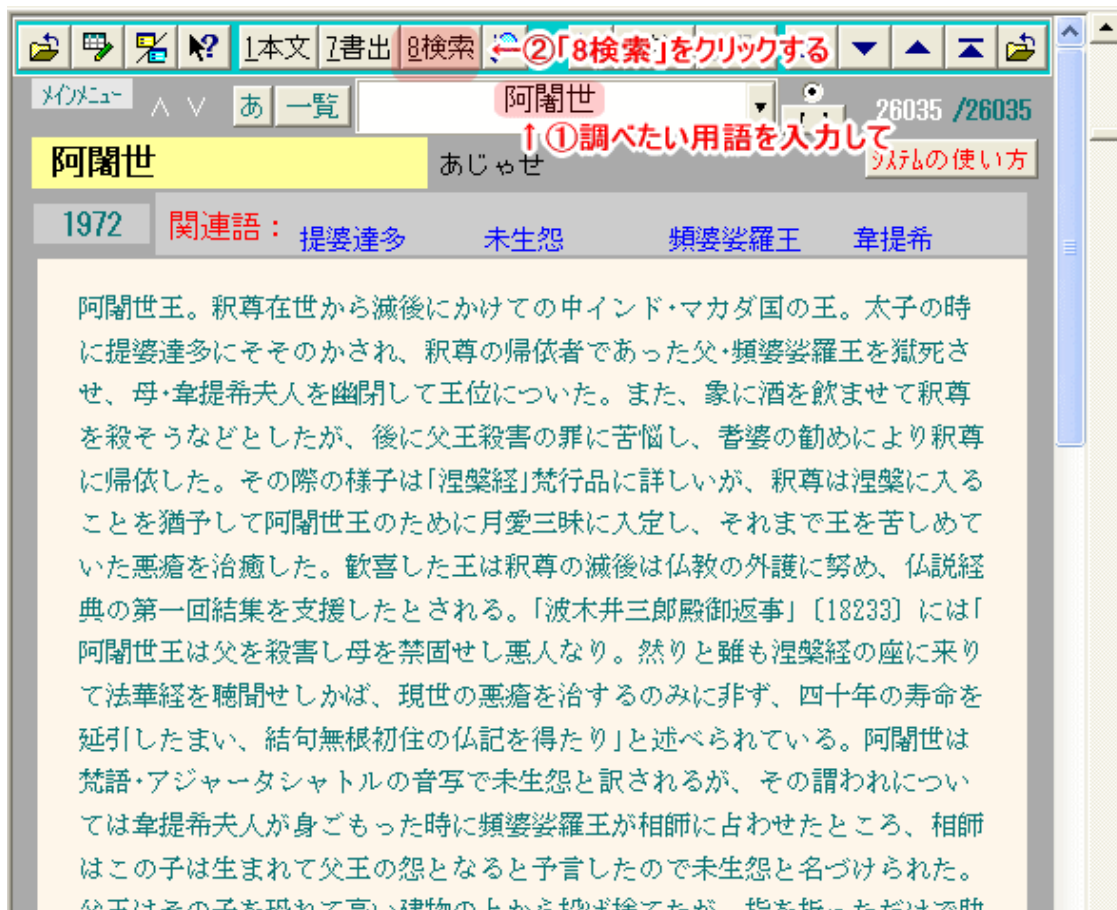
旧暦(和暦)年月日を西暦に換算します。

[▲このページの先頭に戻る](#)

◆辞書フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)





## 各部の名称へ

意味のわからない御書の用語をドラッグして、辞書ボタンをクリックすれば、辞書画面に用語の解説が示されます。また辞書は入力枠に用語を入力して調べる方法もあります。辞書画面にも縦書き・横書きの両様、および一覧表での表示ができます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆本尊資料フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

| メニュー |      | 検索  |     | 印刷  |     | 設定  |     |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1本文  | 2資料  | 3通読 | 4法華 | 5年表 | 6辞書 | 7書出 | 8検索 |
| 9絞込  | 10解除 |     |     |     |     |     |     |

170 / 170

|          |              |      |                                                                    |
|----------|--------------|------|--------------------------------------------------------------------|
| 本尊No.    | 78           | 脇書   | 弘安元年太才戊寅八月日 / 日頂上人授与之 (日興筆)因幡国富城入道息伊与阿闍梨日頂 舍弟寂仙房付属之                |
| 出典(番号・頁) | 本尊集053       | 讃文   | 有供養者福過十号 / 若悩乱者頭破七分 / 諍者開罪於無間 / 讃者積福於安明                            |
| 書頭       | 日蓮           | 回縁讃文 | 仏滅度後二千二百三十 / 余年之間一問浮提之 / 内未曾有大 / 漫荼羅也                              |
| 形態       | 真筆           | 参考資料 | ＊『富要』8巻222頁。＊『興全』139頁。＊『上代事典』655頁。＊『日亨本尊鑑』42頁。＊『日蓮聖人真蹟の世界(上)』237頁。 |
| 系年       | 弘安01年08月     | 備考   |                                                                    |
| 西暦       | 1278         |      |                                                                    |
| 授与者      | 日頂上人         |      |                                                                    |
| 所蔵       | 静岡・村松海長寺     |      |                                                                    |
| 寸法(丈×幅)  | 94.5×52.4 cm |      |                                                                    |
| 紙数       | 3枚継ぎ         |      |                                                                    |
| 通称       |              |      |                                                                    |

## 各部の名称へ

曼荼羅本尊に関する資料集です。真蹟・模写・曾存の記録のあるものはすべて収録してあります。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆位置検索フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

定本遺文

頁: 123 ▼

行: 4 ▼

1. 実行

2. 御書本文

3. 遺文選択

E. 説明

Z. 中止

遺文集の選択

1. 定本遺文

2. 新定御書

3. 縮刷遺文

4. 御書全集

5. 刊本録内

6. 刊本録外

7. 新編御書

8. 平成新修

9. 対照録

10. 真蹟集成

E説明 Z中止

位置検索画面(左)と遺文集選択画面

## 各部の名称へ

遺文集の位置(巻、頁、行数)を指定して、当該御書本文に移動するときに使います。前回検索時の遺文集から変更して検索する場合は、「3. 遺文選択」をクリックして遺文集を選びます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆書き出し書式フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

Q事典
1設定
2更新

全体の書式

表題に記す内容

書き出す御書
☒ システム版御書
☐ 真蹟直読
☐ 原型活用

書き出す形式
☒ 要文形式
☐ 本文全体

要文の字数の目安 150 字

☐ 本文中の振り文字を削除する
☐ 本文全体を「」で括る
☐ 右列内容の表題を付ける

表題の位置
☒ 前
☐ 後

御書名の頭に付ける記号 ◆

☐ 御書番号
☐ システムNo.
☐ C
☐ 系年
☐ 対告
☐ 真蹟の現存状態と所蔵寺・所在地
☐ 定本遺文の頁数
☐ 新編御書の頁数
☐ 新定御書の頁数
☐ 平成新修の頁数
☐ 御書全集の頁数
☐ ユーザー遺文の頁数
☐ 頁数|に行数を付す

系年数字と頁数の字体
☒ 漢数字
☐ 算数字

書き出す書式に、要文形式と御書全文の2種類、表題には系年・対告・諸遺文集の頁など基本的なデータを加除することができる

各部の名称へ

[▲このページの先頭に戻る](#)

◆書き出し実行フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)



書き出すテキストファイル名 (.txt) を入力 (訂正)

gosho.txt

☒ 上書き ☐ 追加書き

現在の書式は以下の通り。詳細および変更は「1書式」

システム版御書が対象  
本文全体を書き出す  
振りかな(漢字)は全て削除する  
書名などの表題を付ける

書き出すフォルダを参照するボタン

今まで使用したファイル名などの履歴を表示するボタン

追加書きを繰り返すことにより、複数の御書本文を1つのファイルに書き出すことができる

## 各部の名称へ

御書システムを使えば、御書の全文や選び出した要文を、簡単にテキストファイルに書き出すことができますから、テキストブックやレジュメの作成にとっても便利です。

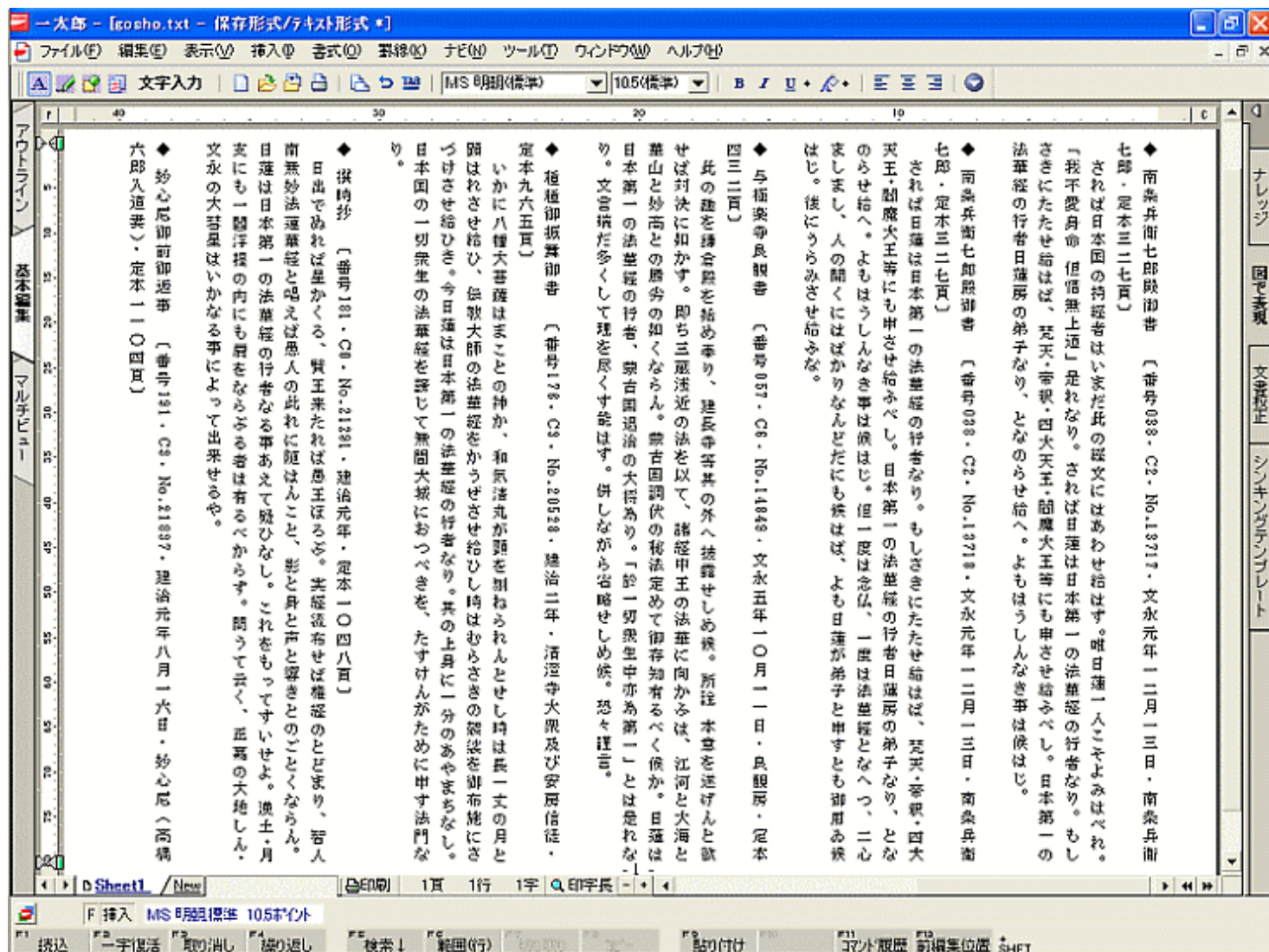
またその際にタイトルとして、御書名や系年・対告・真蹟の現存状態と所在地・遺文集の頁数などの基本データを加除することができます。書き出しする御書は、読み下し(システム版御書)、漢文体(原型活用)が選べます。それらの指定は、書き出し書式画面で行います。

書き出しは、御書本文が絞り込み状態にあるとき、書き出し書式にしたがって実行されますので、まず書き出しする御書本文を絞り込み状態にしておく必要があります。御書本文画面で続きのデータを絞り込みたい時は、入力枠に「5」とすれば5データ分、つまり数字の分だけ御書本文が絞り込まれます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ワープロへの書き出し例

[▲このページの先頭に戻る](#)



(一太郎への書き出し具体例)書き出し後のテキストファイルは「一太郎」や「Word」などのワープロソフトに読込んで編集・印刷してください。

[▲このページの先頭に戻る](#)

◆用語調査フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)




0事典
1データ更新
2実行


## 用語の分割調査

調査対象の御書本文

☒ システム版御書
☐ 真蹟直読
☐ 真蹟活用
☐ 原型活用

調査の用語（区切りの文字列） ねすみ

前(行頭)後(行末)に加える文字数 0

区切りの位置

☒ 行頭
☐ 行末

処理後に整列表示をする

☒ する
☐ しない

調査用語に【 】を付ける

☒ 付ける
☐ 付ない

真蹟の用語調査、特に真蹟直読欄の調査の際は、変体仮名(外字)を使用しているので、それを踏まえて入力するなど、注意が必要

### 各部の名称へ

当システムでは日蓮教学的な分野のみならず、歴史学や言語学、国語史的な観点からの用語調査が極めて簡単かつ正確に行えます。メインメニューの「8用語調査」のコマンドボタンをクリックして、用語調査画面に移行します。調べたい用語を入力枠に入れて実行すれば、直ちにその用語を含んだデータすべてが一覧表になって表示されます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

### ◆用語調査結果フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

| 真蹟活用調査.tbl (専有)                                                                                   |         |         |   |                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|---|---------------------------------|
|                                                                                                   | システムNo. | 書名      | C | 調査対象                            |
| ▶                                                                                                 | 24369   | 鼠入鹿事    | 1 | 【ねすみ】 いるかとかや申候大魚〈或十七八尋或二十尋云云〉乃至 |
|                                                                                                   | 15032   | 法門可被申様之 | 0 | 【ねすみ】 かかわほりになりたるやうに鳥にもあらず       |
|                                                                                                   | 15032   | 法門可被申様之 | 0 | 【ねすみ】 にもあらず田舎法師にもあらず京法師にもにすせう房太 |
|                                                                                                   | 29012   | 智妙房御返事  | 0 | 【ねすみ】 をかむやうにせられん時あまや女房とものあわて候は  |
|                                                                                                   | 19692   | 神国王御書   | 1 | 【ねすみ】 を食蛇かかへるをのみ師子王の兎を殺にてこそ有へけ  |
|                                                                                                   | 27439   | 聖人御難事   | 0 | 【ねすみ】 を他人とをもう事なかれ               |
|                                                                                                   | 19769   | 神国王御書   | 1 | 【ねすみ】 犬の前のさると有し時もありき            |
| ☒                                                                                                 |         |         |   |                                 |
|                                                                                                   |         |         |   |                                 |
| <div> <div>1 / 7</div> <div>調査対象順</div> </div>                                                    |         |         |   |                                 |
| <div> <div>調査対象</div> <div>【ねすみ】 いるかとかや申候大魚〈或十七八尋或二十尋云云〉乃至彼大魚らにしほり候香たえ候へきやう候はすくさく等云云</div> </div> |         |         |   |                                 |

真蹟活用欄における用語調査なので、御書のC＝種別は「0、1、2」の範囲内で行われている。

それが用語調査結果画面です。上の場合、調べたい用語は「ねすみ」で、調査形式を上画面のとおりにしますと、下画面の結果が得られました。何でもないようなことですが、従来考えていたことと違う調査結果にしばしば驚かされることもあるのです。活用次第では、新たな統計調査や研究課題にも取り組むことができるでしょう。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆システム説明フォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)

1事典 2目次 3御書説明 4検索説明 5書出 6検索(頁) 7直前

システム説明 御書システムについて 2005年版a 2005-04-28

【初めてお使いの皆さまに】 (右上の [?] タンをクリックして次の頁)

◆使い方がお分かりにならないときは、各画面の左上の方にある [?] のボタンをクリック(押)してください。その画面の内容と、その主な使い方が説明してあります。(いまお読みの「システム説明」は、それらを全部まとめた全体の説明です。全部で43頁ありますがぜひ最後までお目通しください。次頁に目次があります。)

◆また各画面には必ず 事典 か 辞書 のボタンがあります。このボタンをクリックする(押す)と事典が現れますから、分からない用語や、知りたい事柄を、中央上部の入力枠にキー入力して 検索 ボタンをクリックしてください。初めての方は、[私の使い方](#) ボタンをクリックして試してください。解説文の上辺に関連語が表示されているときは、そこにマウスの矢印を当ててクリックすれば、直ちに関連する説明をご覧になれます。

◆このシステムは、御真蹟の現存する御書は、直ちにその箇所の御真蹟写真を表示する機能を備えております。しかし残念ながら現時点では、御真蹟写真をデジタルファイル化した製品が提供されていないので使用できません。「真蹟集成」所持の方には個人的使用方法を「御書システム」の下記ホームページに説明してあります。

◆システム動作に変調が生じましたら、「メインメニュー」の最上段の「メインメニュー」ボタンをクリックしてください。

ホームページ <http://www5f.biglobe.ne.jp/~goshosys/>  
 2004-04-28 tel 086-294-5426 e-mail goshosystem@yahoo.co.jp  
 〒701-1133 岡山県岡山市富吉 2168 興風談所内  
 御書システム制作グループ 代表 池田令道

- 1 -

## 各部の名称へ

御書システムの使い方を説明した画面です。「2.目次」で知りたい項目の頁数を確認し、頁数を入力して [8検索](#) をクリックすると、詳しい説明が表示されます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

## ◆メンテナンスフォーム

[▲このページの先頭に戻る](#)







## メンテナンス

|          |                                                                   |
|----------|-------------------------------------------------------------------|
| 1. 正常化   | 検索時にキーワードに付けた【】が残っていたり、某機能の動作がおかしいときに、正常な状態になおします。                |
| 2. メモの待避 | 御書本文フォームで、ユーザーが[メモ帳]に書き込んだメモを、Cドライブのルートに待避保存します。(御書本文.tblとして書き出し) |
| 3. メモの復元 | 上記の、待避保存した[メモ帳]のメモを、新バージョンのシステムに読み込み復元します。(C:\御書本文.tblから読み込み)     |
| 4. 頁行の保存 | ユーザーが[書頁行]に入力した遺文集の頁行のデータを、Cドライブのルートに保存します。(新規遺文集頁行.tblとして書き出し)   |
| 5. 頁行の読込 | 上記の、ユーザーが保存した新しい遺文集の頁行のデータを、システムに読み込みます。(C:\新規遺文集頁行.tblから読み込み)    |
| 6. 遺文の組込 | ユーザーが頁行を入力した新しい遺文集を、システムに組み込んで使えるようにしたり、逆に解除してシステムの標準に戻したりします。    |

左上の「？」をクリックして「システム説明」を御覧になってください。

メンテナンスフォームへは、[メインメニュー](#)をクリックして入る

### 各部の名称へ

メンテナンスフォームでは、動作の正常化、メモの待避・復元、また、ユーザーが新規に遺文集を組み込む際の、組み込みに関わる作業が行えます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

[戻る](#)